

# 備風

BI

FU

2020・3月

岡山県環境整備事業協同組合



## 掲示板（事業活動）

### 令和元年度 第17回 全国環境連全国大会

〔自然と共生する、循環型環境の創造〕

令和元年10月18日 鹿児島市 城山ホテル鹿児島

第17回全国大会は「自然と共生する、循環型環境の創造」をテーマに掲げ、大会開催にあたっては、環境省・鹿児島県・鹿児島市・鹿児島県市長会、鹿児島県町村会の後援及び公益財団法人日本環境整備教育センター、一般社団法人全国浄化槽団体連合会、全国浄化槽推進市町村協議会の協賛を頂き、全国から約500名の会員が参加した。

講演会では、講師の環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課課長補佐 大沼康宏氏から「廃棄物・リサイクル行政の最近の動向について」と題し講演が行われた。

また、NPO 法人まちづくり地域フォーラム・鹿児島探検の会代表理事 東川隆太氏から「地域の宝物、世間遺産」と題し講演が行われた。

大会式典では、15周年記念事業の報告映像が流れた後、物故者へ黙祷が行われ、大川和彦常任理事が開会の辞を述べ、続いて鳥越澄夫会長による挨拶の後、表彰式や来賓の方々からの祝辞を頂き、滞りなく進行されました。その後懇親会では米山二郎理事が開会の辞を述べた後、今大会の担当県である鹿児島県環境整備事業協同組合の白坂裕一副理事長が挨拶を行い、全国の組合員や来賓の方々と交流を深め、無事に大会を閉会することができました。

寺尾 弘也



### 令和元年度青年部研修会

令和元年12月13日 岡山市北区表町 廣珍軒

年末に開催される青年部研修会も恒例になりつつありますが、今研修会は岡山県環境整備事業協同組合青年部を対象に組合、業界団体の大先輩を講師にお招きし、県内外の汚水の処理事情やそこに至る経緯、また、先人の苦勞等を青年部に伝えていただき、今後の活動に生かしていくために行っています。

今回の講師は山口県環境整備事業協同組合の華山文必理事長です。華山理事長は山口県内の市町へ自ら赴き、担当部署の方へ適正な浄化槽の使用、管理方法などの説明会を開くなど環境保全のため、精力的に活動しています。

研修会のなかで華山理事長は一般廃棄物の処理は安定かつ適切に処理されなければならない。そのためには企業の経営も安定させなければならない、経営悪化の条件緩和、経営の規模適正化、近代化を図らなければならないと言われました。また、近年増えている大規模豪雨災害の際には住民の衛生環境が悪くなりやすいため迅速に対処するために自治体との協定の締結、会社のBCP（事業継続計画）を策定し、有事の際は地域への貢献も忘れてはならないと語られました。

最後に昭和から平成そして令和へと時代は移り変わりましたが、廃棄物処理の形態もどんどん変わっていく中で、我々青年部にも同じように時代の流れに取り残されないように会社経営に邁進するようにと激励され閉会となりました。

松本 宏行



## 岡山県環境整備事業協同組合及び環整連政治連盟岡山県支部合同新年会

令和2年1月31日 岡山市北区 岡山プラザホテル

合同新年会が組合員及び各団体関係者73名参加のもと、寺尾常務理事の司会進行により開催されました。開会にあたり乗藤慎吾理事長より、昨年10月に発生した台風被害についてや元号が平成から令和に変更になり新たな時代へと変化していくことなどのお話がありました。

続いて、来賓の方々を代表して、一般社団法人岡山県浄化槽団体協議会会長八田富夫様からご挨拶を頂きました。

次に、別府洋吾専務理事より今後の主な行事予定についての報告があり、乾杯のご発声を公益財団法人岡山県健康づくり財団専務理事 徳田浩一から賜り、懇親会が始まりました。

親睦が深まり、最後に牧生夫副理事長の閉会の挨拶で会は無事、閉会しました。



甲元 利也

## 事業継続強化への対応（地震の初動対応演習）

令和2年2月10日 組合事務所

一昨年発生した大雨による大規模災害だけでなく、地震や大雪など様々な災害が発生した際に重要となるのが「初動対応」とされていると言われています。私達の業務は地域の生活に根付いたものであり、なくてはならないライフラインとなっています。

当日は、組合員49名参加のもと、徳島大学環境防災研究センターの助教湯浅様を講師にお招きし『事業継続力強化への対応 地震の初動対応演習』と題して、研修会を実施しました。

研修では「事業継続（BC：Business Continuity）とはどういったものか」「災害等が発生した場合のその後の流れはどのようになるか」などについて、わかりやすくご講演を頂きました。

また、本研修会ではグループディスカッション形式を行い「砂漠で遭難した場合、どんな行動をとるべきで、それに必要なアイテムはなにか」や「実際に災害が起きたことを想定し、状況がどのように変化していくか、また断片的に得られる情報からどのように他者に対して適切にかつ、コンパクトに必要な情報を伝達するか」などを実際に体験しながら学習していきましました。

BCP（事業継続計画）を作成している会社は沢山あるけれども、実際に災害が発生した場合には、単に会社を復旧することだけでは不十分であり、様々な想定外の事象が発生することを鑑みて、事前に収集しておくべき必要な情報はどんなこと（近くの病院はどこにあるか、浸水被害の想定はどの程度であるかなど）があり、優先的に対応していかなければいけないことはどんなことか（人命救助、安全確保、被害状況の把握、復旧作業など）などを学ぶことができました。



中島 政也

# 行事予定

- 令和2年3月27日 全国環境連中国地区協議会第6回理事会（岡山市）
- 5月1日 組合監査（組合事務所）
- 5月8日 組合第1回理事会・常任会（組合事務所）
- 5月20日 全国環境連第1回理事会（東京）
- 5月25日 組合通常総会（岡山市）
- 6月2日 全国環境連中国地区協議会第1回理事会（岡山市）
- 6月17日 全国環境連通常総会（東京）
- 6月26日 全国環境連中国地区協議会通常総会・第2回理事会（岡山市）
- 7月22日 全国環境連第2回理事会（岡山市）
- 7月29日 組合第2回理事会・常任会（組合事務所）
- 8月4日 全国環境連中国地区協議会第3回理事会（岡山市）

# シリーズ第50回 水とくらし

石原 慎祐

災害が頻繁に発生する近年、「井戸水」が注目をあびています。

必要な情報を集めるスマホや多くの家電を使うためには「電気」が必要となります。最近では自動車が1台あれば、カーナビから情報を得たり、スマホを充電したり、冷暖房がついた宿泊場所としてなど、災害時には私達の生活を大きく支えてくれます。

しかし、「電気」はあくまで生活をより豊かにしてくれるものであって、仮に電気がなかったからといっても、生命が危機にさらされることは滅多にありません。

一方で、食料などは生物が生きていく上で最も重要なものであり、中でも「水」はどんな栄養素よりも必要とされるものです。平時であれば、水道から自由に水を得ることができますが、ひとたび地震などで水道管が一部でも破損してしまうと、その下流に接続されている家庭などはすべて断水となってしまいます。

その際でも使用可能となるのが「井戸水」です（電動ポンプは止まる可能性があるため、手動でくみ上げられる仕組みは必要となります）。飲料用としてはもちろんのこと、トイレに使用したり、洗濯や風呂に使用したりとその用途は無量大です。また、どれだけ使用しても料金は一切発生しません。井戸を使用するためには初期費用に加え、メンテナンス管理や成分分析など定期的にコストも発生しますが、いざという時にあるとないでは大きな違いとなることは間違いありません。

## 活 動 報 告

- |                                     |                                 |
|-------------------------------------|---------------------------------|
| 令和元. 9. 6 第3回全国環境連研究・事例発表会(長野県軽井沢町) | 12. 10 組合理事会・常任会（組合会議室）         |
| 9. 18 全国環境連第3回理事会（鹿児島）              | 12. 19 事業部西日本高速道路(株)中国支社（広島市）   |
| 9. 24 組合理事会・常任会（組合会議室）              | 12. 18 全国環境連年末あいさつ（東京）          |
| 10. 1 第33回「浄化槽の日」（東京）               | 2. 1. 7 新年あいさつ（倉敷市長）            |
| 10. 5 公明党岡山県議団へ浄化槽関係の要望書提出          | 1. 8 日本廃棄物団体連合会新年賀詞会（東京都）       |
| 10. 9、10 第33回全国浄化槽技術研究集会（秋田市）       | 1. 10 新年あいさつ（岡山県知事）             |
| 10. 18 全国環境連臨時理事会（鹿児島市）             | 1. 15 全国環境連第5回理事会・新春懇談会（東京）     |
| 10. 18 全国環境連第17回全国大会（鹿児島市）          | 1. 31 組合理事会・常任会・新年会（岡山市）        |
| 11. 3 児島湖流域清掃大作戦                    | 1. 22 全国環境中国地区協議会第5回理事会（岡山市）    |
| 11. 14 自由民主党岡山県議団へ浄化槽関係の要望書提出       | 2. 7 全国環境連中国地区協議会青年部研修会(鳥取県米子市) |
| 11. 13、14 岡山県貯水槽清掃作業従事者研修会(組合研修室)   | 2. 6 岡山県合併処理浄化槽普及促進協議会研修会(岡山市)  |
| 11. 18 全国環境連政府に対する要望書提出             | 3. 11 全国環境連事務局長会議（東京）           |
| 11. 29 第15回全国環境連青年部研修会（岡山市）         | 3. 18 全国環境連第6回理事会（東京）           |
| 11. 27 全国環境連第4回理事会（大分市）             | 3. 24 組合第6回理事会・常任会（組合事務所）       |
| 12. 3 全国環境連中国地区協議会第4回理事会(岡山市)       |                                 |

## 編集後記

桜も開花し、お花見シーズンとなって来ましたが、今年は新型コロナウイルスが蔓延し、各種会議や講演会、スポーツ大会、各種イベント等が自粛され、開催が中止となっており、お花見の中止要請が出ております。さて、新型コロナウイルスの終焉がいつになるかわかりませんが、我々業界より感染者が出たら、仕事が滞って生活に支障がおきます。そのためにはマスクの着用、うがいの励行、手指の消毒を確実にを行い新型コロナに感染しないように心掛けましょう。 別府洋吾

BIFU

Vol.53

発行日 令和2年3月25日  
 発行 岡山県環境整備事業協同組合  
 編集 機関紙担当理事 別府 洋吾  
 住所 岡山市南区山田291-2  
 tel/fax 086-282-6455/086-282-6685  
 E-mail okakan01@poem.ocn.ne.jp  
 印刷 (有)エーピープランニング